

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立鴻巣女子高等学校)

目指す学校像	(1) 自立した女性の育成 (2) スペシャリストの育成
--------	------------------------------

重点目標	1 学習環境の整備と事前学習等の授業改善を通して、生徒一人一人の学力を向上させる。 2 外部機関と連携しきめ細やかな指導を通して、生徒の主体的な自己実現を支援する。 3 多彩な学校行事や規律ある高校生活を通して、生徒一人一人を大切にしている指導を推進する。 4 地域との連携事業や情報発信を通して、地域に貢献する学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	「授業5原則」「朝読書」「CLEAN THE TABLE」の実践により、学校全体で学ぶ姿勢は定着してきている。これらの取組をさらに進めるとともに、生徒自身が学ぶ意欲や分かる喜びを実感できる学習指導を推進する必要がある。 普通科では、少人数による授業展開や多彩な選択授業等の形態を十分に活用したり、各教員が持つ学習指導技法を高めて、個に対応したきめ細やかな指導で学力の向上を図る。 専門学科では、授業内容を充実して技術検定1級取得の高い合格率を維持している。今年度も外部講師や県事業を活用して、スペシャリストの育成を図る。	学習意欲向上と普通科の充実が実現できたか。	①自主的に学習環境を整えられるように指導を進める。 ②学年を中心に各分掌が連携して、朝読書の効果的活用を図る。 ③調査期間等下校時刻を徹底して、家庭学習時間を確保する。 ④研修会の実施や授業公開週間等で、教員間の学び合いを充実する。 ⑤県の事業等を活用して様々な指導方法に取り組む。 ⑥各種公開授業を活用して授業力を向上させる。 ⑦生徒の状況に応じた補習指導や個別指導を一層充実させる。	①②学習環境整備や朝読書にしっかり取り組む生徒の割合(85%以上) ③家庭学習時間の増加(昨年度比) ④⑤⑥学力向上と授業改善に関するアンケート調査結果による本年度成果と前年度比較 ⑦補習、個別指導の実施成果 ⑧普通科の検定取得の取組状況 ⑨専門学科の家庭に関する技術検定合格率 ⑩水準維持			
2	将来、自立した社会人となるように、学年に応じた体系的な進路指導を行っている。引き続きこの取り組みを充実するとともに、社会情勢と本校生徒の実情に合わせた現実的な進路指導を行う必要がある。	外部機関と連携したり、進路の手引きを活用して、体系的な進路指導が実現できたか。	①基礎力診断テスト結果を効果的に活用する。 ②定期的に進路の手引きを使用して自己理解を進める。 ③学年に応じた進路指導のねらいを徹底する。 ④校内個別指導、校外進路説明会等に積極的に参加させ進路決定意識を高める。	①テスト結果の分析と活用 ②進路の手引きの定期的活用 ③④進路の決定意識を高めた生徒の割合(90%以上) ⑤進路未決定者割合の減少			
3	学校行事に積極的に参加する生徒が年々増加している。多くの生徒が主体的に参画できるように取り組み、生徒の達成感を向上させる。また、部活動の活性化を図る取組を仕組み、生徒の満足感を高める。 社会人としてのマナーや、良好な人間関係を構築できる力を身につけて欲しいという保護者ニーズが高い。基本的な生活習慣を確立する指導のほか、チームワーク行動や自己肯定感を高める取り組みを充実させる必要がある。	学校行事と部活動参加を通して、生徒の達成感を向上できたか。 基本的な生活習慣の確立と自己肯定感の向上ができたか。	①行事毎に総括を行い、良い部分を大切に工夫、改善を行う。 ②特別活動全般で、生徒参画を意識した粘り強い指導を行う。 ③生徒会予算の見直しと環境整備を継続して、各活動の活性化を図る。 ④荷物ダイエット等、日常的に整理・整頓できるように粘り強い指導を行う。 ⑤社会人としてのマナーを意識したあいさつや言葉遣いを励行する。 ⑥他者理解を深めるソーシャルスキルトレーニングを外部講師により実施する。 ⑦SNSトラブルを防止する指導と取組を徹底する。 ⑧個別の教育相談体制の組織化を進める。	①学校行事に積極的に参加する生徒の割合(90%以上) ②部活動に積極的に参加する生徒の割合(80%以上) ③生徒会行事、部活動の活動成果と各種大会等の実績(昨年度比) ④⑤⑥学校生活に関するアンケート調査結果による本年度成果と前年度比較 ⑦実施成果の検証 ⑧教育相談に関するアンケート項目の肯定的回答(75%以上)			
4	各種学校との交流や地域催し物への参加等、年間をとおして開かれた学校づくりを積極的に行っている。HPの更新や定期的な情報紙の発行等、学校情報の発信を行っているが、本校の特色についてPRが足りない部分が見られる。引き続き信頼に応える取り組みを充実させて地域コミュニティ充実の一翼を担っていく。	地域との連携や情報発信を充実して、信頼される学校づくりが推進できたか。	①HP更新、文化祭、鴻女通信の発行等、学校の特色を様々な機会にPRする。 ②学校交流、出前授業、学校説明会等、各種学校との連携行事の工夫改善を図る。 ③子育て支援事業の内容改善 ④地域イベント等へ積極的に参加して生徒の活躍の場を充実させる。	①②情報発信機会と学校行事等の来校者の増加 ③学校説明会、体験入学の内容改善による成果 ④⑤本校主催事業や地域イベント参加等に関するアンケート調査結果や実施成果の検証			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			

